

## 第1回坂出市学校再編整備検討委員会 会議録（要約版）

日時：令和3年7月29日（木）10時～11時30分

場所：坂出市教育会館2階大会議室

### ○会議次第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 議事
  - (1) 委嘱状等の交付
  - (2) 会長及び副会長の選出
  - (3) 会議及び会議録等の取扱いについて
  - (4) 試問内容および資料説明
  - (5) 意見交換
  - (6) その他
4. 閉会

---

司会者 只今より、第1回坂出市学校再編整備検討委員会を開催します。  
最初に山田教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 本市における児童・生徒数の減少、学校施設の老朽化の現状を鑑み、市教育委員会としては、適正な学校規模の在り方を研究し、教育環境の整備を行っていく必要があります。そこで平成20年度の「坂出市学校再編整備実施計画」および令和2年度の「坂出市学校施設長寿命化計画」を基礎資料として、新たな学校再編整備実施計画を策定してまいります。委員の皆様方にはご審議の方をよろしく申し上げます。

司会者 まず委嘱状の交付ですが、時間の関係上、委嘱状は委員の皆様の上準備しております。

続きまして、教育部長より委員各位をご紹介します。

教育部長 （委員紹介）

会議に入る前に、当検討委員会の要綱により、出席委員が過半数を満たしていることから（委員総数10名のうち8名出席）、会議が成立していることをご報告します。

それでは、当検討委員会の要綱により、会長が議長を務めることとなっております。会長の選任については、「委員の互選」によること

と規定されていますが、委員の皆様のご意見はありますでしょうか。

委員 事務局案があれば示して欲しい。

教育部長 事務局案があればとのことですので、事務局案を示してもよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

事務局 事務局としては、前回検討員会でも会長をしていただきました、香川大学の毛利委員にお願いできたらと考えております。

(「異議なし」の声あり)

教育部長 それでは、毛利委員を会長に選任します。

会長 (会長挨拶)

続きまして、副会長を選任します。当検討委員会の要綱により副会長の選任については、「委員の互選」によることと規定されていますが、ご意見はありますでしょうか。

委員 事務局案を示して欲しい。

会長 事務局案があればとのことですので、事務局案を示してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

事務局 事務局としては、連合自治会会長の藤井委員にお願いできたらと考えております。

(「異議なし」の声あり)

会長 それでは、藤井委員を副会長に選任します。

副会長 (副会長挨拶)

会長 次に、会議および会議録の取扱いについて、を事務局より説明願います。

事務局 (別紙「会議および会議録の取扱い」について説明)

会長 それでは議事に入ります。まず初めに諮問および諮問内容について、を議題とします。

教育長 私から会長へ諮問書をお渡しさせていただきます。

(教育長から会長に諮問書を交付)

---

報道関係者の退席

会長 諮問の理由について、事務局からご説明願います。

事務局 (諮問理由の説明)

会長 事務局より諮問理由について説明がありました。諮問事項や諮問

理由について委員皆様のご質問、ご意見を申し上げます。

(特になし)

会 長 会長の心積もりとして、2つの諮問事項をいつまでに取りまとめる予定なのか、また今後のスケジュールをどう描いているのか、ご説明願います。

事務局 毎月1回のペースで検討委員会を開催し、令和4年3月末までに答申を得られればと考えておりますが、必要に応じてパブリックコメントやアンケート等を実施する場合には、年度を跨ぐ可能性が十分にあります。

会 長 次に、配布資料の説明について、を議題とします。事務局より説明願います。

事務局 (別紙「第1回資料」の説明)

会 長 事務局より本日配布の資料について説明がありました。第1回目ということで、今回は現状認識のための資料でしたが、委員の皆様からご質問なりご意見を申し上げます。

委 員 学級規模の適正については、子どもの成長にとって、様々な人と触れ合うという観点から、1学年あたり2~3クラスが望ましいと思います。しかしながら若年人口数をみると、0歳~3歳児は300人を割ってきており、校区別では大幅に減少している所もあることから、5年・10年先の人口を見据えて、議論を進めていく必要があると思います。

委 員 王越地区のように、子どもの減少による統廃合でその地域に学校がなくなると、その地域の活力が失われ、過疎化はさらに進んでいきます。また、統廃合によりその地区から学校がなくなると、その地域だけでなく、学校跡地についても考える必要があると思います。

委 員 学級規模の適正を下回るから、機械的に統廃合を進めていくのはいかがなものかと思えます。学校が地域の活性化としての役割があることや、地域の事情を考慮して、統廃合については慎重に検討していく必要があると考えます。

委 員 前回の学校再編整備実施計画(平成20年)と今回の配布資料において、通学距離の適正距離に差異が生じているが、これはどういうことなのでしょうか。

事務局 今回の配布資料の数値は国の手引きからの引用によるものです。数値の差異については、スクールバス等の活用による時代の変化の影響を受けたものと考えられます。

委 員 前回の学校再編整備実施計画(平成20年)における後期計画・将

来構想においては、人口減少が想定よりも緩やかであったため、現状維持のままでした。しかし、少子化が進んでいることや予算面により、統廃合は避けて通れない問題と感じております。地域住民に統廃合を説明する上では、施設の老朽化という面ではなく、子どもの教育力の向上という視点が鍵になるのではないかと考えます。

委員 今の適正が今後の適正であるとは考えにくく、通学距離等において国が示す指標においても、現実との乖離が生じていると思います。また、この検討委員会では、どのように結論を持っていくのかということが漠然としているように感じます。

会長 この検討委員会の構成委員においても、学識経験者や教育関係者、地域等の様々な構成委員が集まっていることから、意見が一つにまとまることは難しいものかと思えます。前回の検討委員会においても、これからの学校教育の在り方について考えるきっかけとなりましたので、検討委員会を通じて、最終的には委員の願いや思いが答申という形で出せればと考えております。

会長 皆様の貴重なご意見ありがとうございました。

次に、会議の進め方などについて、を議題とします。

まず、要約版の会議録は、会議終了後に事務局でまとめてもらいますが、教育委員会で一般市民の閲覧に供したり、ホームページに掲載するということでありまして、公式記録として役所で保存されるものです。

そこで、その内容の点検、認証をどのような方法でするのがよいか、委員皆様のご意見をお願いします。

委員 会議録を会長と出席委員が署名する形が望ましいのではないのでしょうか。署名委員の負担を鑑み、毎回別の方が署名する形が公平・公正も担保されるように思います。

会長 それでは、会議録は会長と出席委員が署名する形にしましょう。

会長 次に配布資料の事前送付についてですが、資料もある程度ボリュームがありますので、事前に送付していただければ、事前に目を通すこともでき、協議がスムーズに進むと思われませんが、事務局としてはどうでしょうか。

事務局 ご指摘のとおり、そのような方向で対応します。ただし、資料によっては、当日でないと間に合わないものも出てくるかと思われまして、その場合はご了承願います。

会長 議事の最後、その他ですが、事務局の方で何かありますか。

事務局 次回、第2回検討委員会の日程調整をお願いします。

会 長 次回の日程について、8月ということになるかと思いますが、8月30日の午前でいかがでしょうか。

委 員 (異議なしの声あり)

会 長 それでは、次回は8月30日、月曜日の10時からでお願いします。委員の皆様で、そのほか何かありますでしょうか。(特になし)

会 長 特にないようですので、以上で本日の議事を終了します。

司 会 以上をもちまして、閉会とします。長時間に渡りありがとうございました。

以上

---

以上のおおりに相違ないことを確認し、ここに署名します。

令和3年8月18日

会 長

毛利 猛  
井上 博樹

会議録署名人